

会 議 要 旨 録

会 議 名	令和7年度第2回三郷市立児童館運営協議会
開 催 日 時	令和8年2月18日（水） 14時00分から15時45分
開 催 場 所	三郷市役所 6階 全員協議会室
出席者氏名	相澤会長、榎本副会長、新田委員、牧野委員、堀委員、塙委員、高鹿委員、川口委員、小泉委員、宇田川委員、保志委員、沼宮内委員、染野委員、黒澤委員 (欠席：木津委員)
傍 聴 者	0名
指定管理者	北児童館 三郷市社会福祉協議会 宮里施設課長、大口館長 南児童センター、早稲田児童センター (株)明日葉 堰塚エリアマネージャー、松村館長、安田館長
事務局職員	須賀こども未来部長、中井こども未来部副部長、伊藤こども政策課長、野本こども政策課こども政策係主査、稲原こども政策課こども政策係会計年度任用職員
<p>会議次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委嘱書交付 3 会長・副会長選出 4 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和7年度前期（4月～9月）事業報告について (2) 令和8年度事業計画（案）について (3) 令和7年度前期（4月～9月）モニタリング評価について (4) その他 5 閉 会 	
<p>会議資料</p> <p>資料1 令和7年度（前期）事業報告書 資料2 令和8年度事業計画（案） 資料3 令和7年度前期モニタリング評価報告書 各児童館の事業報告書のカラー写真（資料1の追加資料） 児童館の案内資料「児童館に行ってみよう」 三郷市立児童館運営協議会委員名簿 事前質問一覧表</p>	

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局	<p>1 開 会 挨拶（須賀こども未来部長）</p> <p>2 委嘱書の交付（須賀こども未来部長）</p> <p>3 会長・副会長の選任について （会長 相澤委員、副会長 榎本委員）</p> <p>（会議成立の報告） 本日の出席委員数は15人中14名、協議会規則 第6条 第3項の規定に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立することをご報告します。</p> <p>4 議 事 （傍聴者の報告） 本日の傍聴希望者は0名であることをご報告します。</p>
議長（会長）	<p>それでは、議事に入ります。 （1）令和7年度前期（4月～9月）事業報告について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>北児童館、南児童センター、早稲田児童センターの順で館長よりご報告します。 ※ 「資料1 令和7年度（前期）事業報告書」 ※ 「各児童館の事業報告書のカラー写真」について説明</p>
事務局	<p>委員より事前質問が提出されています。一覧表のNo.1からNo.22まで北児童館から順にお願いします。</p>
指定管理者 （北児童館）	<p>[No.1]北児童館は前年度同期と比較し利用者の人数が減っている。なにか理由はあるか。また、利用者の人数が減った理由を分析しているか。 (回答)前年度に比べ、5月のゴールデンウィークの3日間で50人減少、7月は前年度よりも一日多い土曜日の休館日も要因となり減少したが、9月はイベントの開催のない土曜日や日曜日に170人前後來館することもあり、前年度よりも351人増加しています。4月から9月の半期で750人減少しているが、一日平均にすると4人の減となるため、誤差の範囲として認識しています。</p>

<p>指定管理者 (南児童センター)</p>	<p>[No.2]小学生の利用について、夏休み期間中の利用者増が夏休み前後の2倍になっていない。午前中はあまり来館者がいないという理解でよいか。 (回答)夏休み期間、午前中の小学生来館数は458人、午後は842人、午後は午前の倍近くの来館がありました。 午前中の来館者が少ない要因としては、参加率の高い午後にイベントを開催することが多く、イベントの開催時間に合わせて来館するからと考えています。</p> <p>[No.3]1日平均人数から大人を抜いたものを表示してほしい。 (回答)従前の利用者集計表で提出しており、次回から明示できるようにします。</p> <p>[No.4]「その他」の利用者の概要を教えてください。 (回答)高校生世代です。</p> <p>[No.5]近隣幼保園、小学校、中学校に対し、イベント等のPRをどのような形で行っているのか、概要の説明をしてほしい。 (回答)近隣小学校(6校)と近隣保育園(3ヶ所)へ児童館だよりを配布の他、幼稚園児と保護者の来館があった際に、直接声かけによる周知を行い、「お友だちも是非一緒に」とイベント情報のチラシを配布しています。中学生はホームページやInstagramから随時発信しており、情報を確認しての来館も多いが、中学校にイベント情報の案内掲示の依頼を検討しています。</p> <p>[No.6]事業ごとに回数と参加人数がまとめられているため、事業1回の平均参加人数を明示してほしい。 (回答)従前の利用者集計表で提出しており、次回から明示できるようにします。抜粋して報告すると、毎月参加者数が多い「幼児・小学生」を対象とした「今日のぬりえ」は、最も参加者が多かった9月で、1回の平均参加者は13人でした。また、1回の平均参加人数の多い事業は、「きたじまつり」の231人に続き、4月の「進級・進学おめでとう」が69人、5月の「祝 母の日」が57人でした。毎月開催している「お誕生日週間」は、対象の児童のみとなるため平均参加人数は少なく、9月は平均0.5人だが、自分の誕生日が来るのを楽しみにしている様子が見られます。</p> <p>[No.7]「どのような事業が小学生に人気があるか」を分析し、その概要を教えてください。 (回答)「こどもの日」や「母の日・父の日」などの季節や時期にちなんで行う工作の他、「プラ板づくり」や「スライムづくり」など、作って持ち帰ることができるもの、遊ぶことができるものに人気があります。</p> <p>[No.8]利用者が増加している。なにか理由はあるか。 (回答)幼児が383人、大人が461人と前年度に増え比べて大きく増えています。幼児親子は、きりんサロン開催日により多く来館する</p>
----------------------------	---

傾向があります。きりんサロンは、月木金曜日に開催、きりんサロンの先生や、保護者同士の交流を楽しみに、友達が友達を呼んでロコミが広がって利用が増加した実感があります。また、水曜日に開催していた計測を行うすくすく育児サロンをきりんサロンと同じ金曜日に変更、すくすく育児サロン目的の来館者増加にも繋がりました。さらに、InstagramやホームページなどSNSを使った周知も効果が出ており、受付で初来館の声もあります。中高生の利用者増加については、中高生タイムが前年度月1回から、今年度毎週1回の開催に変更となり、利用人数増加に繋がったプラス要因です。

[No.9]小学生の利用について、夏休み期間中の利用者増が夏休み前後の2倍になっていない。午前中はあまり来館者がいないという理解でよいか。

(回答)開館前から待つ小学生も数人いるが、全体的に午後から遊びに来るこどもが多い傾向にあります。夏休みに入ると、スポーツ教室や習い事など予定があるようで、1日休みのときよりも、給食がない短縮授業のときに、学校で友達と児童館に行く約束をし遊びに来るこどもが多くいます。

[No.10]1日平均人数から大人を抜いたものを表示してほしい。

(回答)従前の利用者集計表で提出しており、次回から明示できるようにします。

[No.11]「その他」の利用者の概要を教えてください

(回答)高校生世代です。

[No.12]近隣幼保園、小学校、中学校に対し、イベント等のPRをどのような形で行っているのか、概要の説明をしてほしい。

(回答)児童センターだよりや様々な場所へのポスター掲示依頼(館内、生涯学習コーナー、三郷市内の公共施設)、または近隣の商店など効果があると思われる場所へのポスター掲示、ホームページ、Instagram、広報みさと、みさと学習情報ガイド、そして近隣の小学校や中学校には、その時に応じてポスター掲示依頼をお願いしています。また北児童館同様、来館者に小さなチラシを配ったり、ロコミでお誘いしたり、毎週2回開催のひよっこダンスで幼児向け事業の声かけをすると、ダンス後に申し込みがあることもあります。

[No.13]事業ごとに、回数と参加人数がまとめられているため、事業1回の平均参加人数を明示してほしい。

(回答)参加者の多い事業を抜粋し回答します。参加者の多い事業として祝日や夏休みを除き、火・木曜日の週2回実施しているひよっこダンスの平均参加人数は、1回につき16.2人です。火曜日よりもキリンサロン開催日の木曜日の方に参加者が多い傾向にあります。火曜日は隣のコミュニティセンターでリトミックが開催されており、そちらに参加する利用者も多く、木曜日の方が高い比重になっていると感じます。月2回開催しているお話ポケットも平均は18.2人、7月

指定管理者
(早稲田児童セ
ンター)

に2回開催したお化け屋敷の平均は283人、こどもたちに人気の夏休み開催みさとの大将の平均は、1回につき6.3人となっています。
[No.14]「中学生以上月のぬりえ」「中学生以上月のクイズ」については、毎日開催され、月に参加人数が数人ということでよいか。

(回答)当月のぬりえは、質問にある通り、毎日開催し、月人数は報告の通りです。もともと毎月のぬりえは、月ごとにイラストを替え1人1回参加できる小学生向けに行っていたが、ぬりえが好きな中学生からも要望があり、年齢を広げました。ただ体育室や卓球がやりたくて来館するこどもたちが多いので、ぬりえの参加者は少人数です。

[No.15]「どのような事業が小学生に人気があるか」を分析し、その概要を教えてください。

(回答)小学生に人気がある事業は、やはりこども祭りと前期ではお化け屋敷です。そして前川中学校の吹奏楽部演奏会は、それを見学して吹奏楽に憧れをもち、入部するこどもたちもいます。

[No.16]早稲田児童センターは前年度同期と比較し利用者の人数が減っている。なにか理由はあるか。また、利用者の人数が減った理由を分析しているか。

(回答)1日当たりの利用者数は、概ね昨年度並みと認識しています。ゴールデンウィーク期間中の利用が前年度よりも少なかったことが影響していると考えます。

[No.17]小学生の利用について、夏休み期間中の利用者増が夏休み前後の2倍になっていない。午前中はあまり来館者がいないという理解でよいか。

(回答)日にもよるが、午後に利用者が多いのが現状です。こどもたちの話を聞く限り、午前中に宿題やクラブ活動を行っていることが要因の一つと考えます。

[No.18]1日平均人数から大人を抜いたものを表示してほしい。

(回答)従前の利用者集計表で提出しており、次回から明示できるようにします。

[No.19]「その他」の利用者の概要を教えてください

(回答)高校生世代です。

[No.20]近隣幼保園、小学校、中学校に対し、イベント等のPRをどのような形で行っているのか、概要の説明をしてほしい。

(回答)主にお便り配布やポスター掲示を行っていますが、ホームページ、Instagramでの発信も行っています。

[No.21]事業ごとに回数と参加人数がまとめられているため、事業1回の平均参加人数を明示してほしい。

(回答)一つの事業を抜粋し報告します。すくすくリズムの1回当たりの平均値は8組から10組の親子が参加しています。

[No.22]「どのような事業が小学生に人気があるか」を分析し、その概要を教えてください。

議長（会長）	<p>(回答)主にボールを使用した事業が人気です。先ほどの事業報告にもありました、自社自主事業におけるリーフスポーツでの4面ドッジボールの人気が高いように感じました。</p> <p>質問の回答について、委員いかがでしょうか。</p>
委員	<p>人数でカウントしなければいけないので、どこの児童館・児童センターもすごく悩んでいる感じがしました。指定管理者と市の契約がどのようになっているのか不明ですが、特に入館票の記入においてカウントしていると思うので、例えば入館票をできるだけ簡単にしてカウントに反映させるなどを検討してほしい。そして、苦勞されていると思ったのが、中学生以上の月のクイズです。毎日開催されていますが、7月で見ると、月のクイズは参加者9人、平均3日に1回程度しか使われてないが、カウントを増やしていかないと評価に当たらないところからきているのかなと思いました。各館の努力というか切なさを感じ、市の方で考えてあげないとかわいそうではないかなあというふうに感じました。もう一つ、例えば、地域連携で中学校の吹奏楽部の演奏会を行った事例がありましたが、他にもアクセスできるような団体や組織があると思います。例えば私が所属しているボーイスカウトで、毎年文化祭のパレードに参加するのですが、小学校の吹奏楽部も参加されています。参加を希望する全ての小学校が参加できるのではなく、順番に参加できる小学校が決まっている話も聞きます。事業説明では、中学生の演奏を聞いて、吹奏楽に憧れて入った話がありましたが、こども達が発表できるような場所提供として、もっと児童館を活用できたら、来館チャンスに繋がるのではと感じています。最後に、質問1に関して、全体の人数が減っている中、減少数が平均で4人、4人ならばカウントの方法さえ考えれば、クリアできるのだらうと思うので、その指標を出すならば、きちんと条件を整えながらやらなければいけないと思いました。60歳である私自身が、小学生・中学生のときに利用していたのは、卓球です。卓球部でしたが、中学校の試験期間中は部活動が禁止となるため、利用した記憶があります。50年前の記憶が残っていることを考えると、知っているこどもしか使えないようなことがないよう、PRしていく必要があると思います。またPR方法が各館ごとに違うのももったいなく思うので、例えば市で、イベント掲載コーナー以外に他課と連携を取りできることがあると思います。日本一読書のまち推進課と一緒に私の事業でも読書フォーラムを開催しました。その際は、窓口となってもらい、小学校の図書室担当者にポスター送付の協力をしてもらいました。児童館からそれを行うと大変なので、市で取りまとめてもらえたらよいのではないかと思います。質問しました。</p>

議長（会長）	<p>他に、質問がある方はいますか。 多数の意見がありましたので、今後の児童館の運営に活かしていければよいと思います。これで議題1)を終了します。</p> <p>議題「2) 令和8年度事業計画（案）について」事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>令和8年度事業計画案につきましては、北児童館、南児童センター、早稲田児童センターの順で館長より報告します。</p> <p>※ 資料2 令和8年度事業計画（案）について説明</p>
指定管理者 （北児童館）	<p>令和8年度の事業は、令和7年度と同様に実施しますが、「幼児・児童」の5月と6月の「ファミリーデー」について、複雑な環境で育つ子どもが多いため、「祝・母の日」「祝・父の日」の事業名を「ファミリーデー」に変更します。また、同じく「幼児・児童」の「鑑賞」のボランティアさんによる「紙芝居シアター」は、2歳児以上の幼児親子を対象とした「らっこひろば」の開催に合わせ、5月・6月と11月・12月に開催していたが、令和8年度は祝日と学校長期休業期間を除き、毎月の開催に変更します。令和8年度、新たに追加する事業として、児童の欄、1月に「冬休みスペシャル」、3月に「春休みHAPPYDAY」を実施します。「冬休みスペシャル」は「ボードゲーム」を予定しており、「春休みHAPPYDAY」は卓球やおもちゃの日の他、体を動かす遊びも検討しています。中高生の欄、「中高生の学習支援（空き室の有効活用）」は、学校の長期休業期間に、中高生が静かな環境で学習ができるよう、希望の郷交流センター2階の貸室の予約が入っていない部屋を利用し、学習の場を提供します。また、「中高生タイムのKita★café」は、9月と3月にスペシャル回として、かき氷や、その他に中高生の希望を聞きながら実施します。「親子」の「子育て支援」の欄では、子育ての充実を図る目的として、自由に意見交換ができる「子育て情報掲示板」の設置をします。以上です。</p>
指定管理者 （南児童センター）	<p>南児童センターの年間事業計画の説明をします。まず、開催時期の変更です。分類は、乳幼児・小中高生の欄、5月にある南児童センター最大のイベント、こどもまつりです。毎年6月第1週目あたりに開催していたが、令和8年度は戸ヶ崎地区にある香取神社の大きな祭礼が同じ時期に変更になったため、5月の最終週に移動することになりました。隣にあるコミュニティセンターも6月に大きなイベントがあるため、調整しての日程です。また8月のお化け屋敷は、例年7月の終わりの土日に開催していたが、今年度はカレンダーの都合上、8月初旬の土日開催になります。次に、新規事業として小中高生の8月と3月にリーフスポーツを予定しています。今年度は、幼児親子向けに開</p>

<p>指定管理者 (早稲田児童センター)</p>	<p>催したが、来年度は早稲田同様、小学生向けにも2回実施する計画です。その他、事業ではないが、先週から南児童センターの外広場に、幼児向けの木製遊具が設置されました。自主事業については、早稲田と共通になるため、最後にエリアマネージャーより報告します。以上です。</p> <p>早稲田児童センターの年間事業計画の説明をします。分類は乳幼児小中高生、事業種別は季節親睦についてです。来年度は、昨年12月に実施した地域意見交換会での意見を反映し、課外活動を充実させます。具体的には、6月に「ザリガニ釣り」、11月に「みかん狩り」を、みかん狩りについてはバスを使用して実施する予定です。また、1月には凧作りをして、近くの河川敷での「凧あげ」を計画しています。次に、分類は親子、事業種別は季節親睦についてです。「すくすくリズム」は、手遊びや体操を行うプログラムですが、日時を変更します。毎週水曜日10時45分から週1回を、4月からは学校休業日を除く月曜日から金曜日11時30分からに増やします。事業種別、集団活動欄についてです。現在、2歳児親子向けに通年で行っている「のびのびひろば」に加え、4月からは新たに1歳児親子向けの「よちよちひろば」を開催します。以上です。</p>
<p>指定管理者 (株)明日葉</p>	<p>南児童センター・早稲田児童センターにおける(株)明日葉の自主事業について共通する部分を報告します。主に3つのポイントで、実施事業を紹介します。1点目、小中高生向け、そして乳幼児親子向けの両方に共通するもので、リーフスポーツという活動を取り入れています。年間を通じて数回実施予定ですが、弊社の体操専門指導員が来館し、サーキット運動や鉄棒、例えば小学生ならばボッチャやドッジボール、キックベースなどこども向けの遊びやスポーツレクリエーションを提供して遊ぶ事業を実施しています。非常に人気のある事業なので、集客が期待できます。2点目、中高生タイムです。2館とも週1回、各館曜日が異なりますが、夕方の時間に中高生専用の時間を設けています。いろいろな意見を吸い上げる機会として、また中高生向けの講座や職業体験に関するプログラムも検討しています。eスポーツに関しては、ゲーム機のSwitchを使い、こどもたちが一緒になってコミュニケーションをとりながら遊ぶ空間を作ることを検討中です。テストをしている様子を見た中学生から、興味を示す反応などもあります。4月以降に向けて、本格的に準備を進めていきます。3点目は、乳幼児親子向けの事業で、普段働いているパパ向けに、週末を中心とした「パパといっしょ」と題して、お父さんが参加できる事業に力を入れていきます。また「ベビママ講座」は生後2ヶ月から6ヶ月の赤ちゃんとそのママを対象としており、複数回にわたって事業実施しながら、事業終了後も関係性が続けられるようママ同士のコミュニケー</p>

<p>議長（会長）</p>	<p>ション構築を目指している事業です。またそれ以外にも子育て講座として、弊社の子育て支援員が来館し、小さなこども向けに身体の機能を促すようなバランスボールなど考えています。以上です。</p> <p>ただいまの事業計画案に関して、委員より事前質問が提出されています。一覧表の No. 23 から No. 28 まで北児童館から順にお願いします。</p>
<p>指定管理者 (三郷市社会福祉協議会)</p>	<p>[No.23]資料1を見る限り、利用者人数が「K P I (重要業績評価指標)」であると考えられる。それならば、事業計画にも実施する事業の想定人数を示すべきであると思われるがいかがか。</p> <p>そして、その事業実施時の利用者人数を確認し、利用人数増に向けて改善策を検討していくことができるようなサイクルを作るべきではないか。</p> <p>(回答)従来の書式で提出しており、次回から想定人数を記入した状態で明示できるようにします。また社会福祉協議会で事業を行う際には、P D C A (Plan-Do-Check-Action) サイクルに沿って事業の評価を行っていました。指摘のあった、K P I という指標が現状このP D C Aの中に組み込まれていないため、今後はP D C Aを基本としながら、この評価指標についても取り込んだ状態で事業について適正に実施をしていきたいと思えます。</p> <p>[No.24]単館移動児童館、三館合同移動児童館の事業が散見されるが、児童館が偏在する現状を考えると、より増やしていくべきであると考えられるがいかがか。会場として、文化会館などの大きな施設ではなく、公民館・〇〇会館など小さな施設を狙って実施していくことで、市内全域に展開が可能であると思われる。「学童保育クラブ」「小学校の体育館」などの活用・連携により、すべての小学校への展開が可能であるはず。</p> <p>(回答)三郷中央駅近辺に子育て世代が多く住んでいるということで、現状は「三郷中央におどりプラザ」にて移動児童館を開催してきましたが、指摘の通り、他のエリアでニーズのあるところというのがまだ承知ができていません。今後、別の会場での実施については、こども政策課と検討し、実効性の高い移動児童館が開催できるように取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>[No.25]「施設が足りない」ことを、「プログラム」で補うことができるため、特に指定管理者からすると「自館への誘引」を可能にすることとなるがいかがか。</p> <p>(回答)魅力を感じてもらえる取り組みについて、情報発信することで、来館者増加へ繋がっていくと思うので、事業の対象者をよく絞り込んだ状態で、小学生をターゲットにするのか、中学生をターゲットにするのか明確に設定をした上で、それぞれの世代が参加したくなる事業を検討していきたいと思えます。</p>

<p>指定管理者 ((株) 明日葉)</p>	<p>[No.26]資料1を見る限り、利用者人数が「K P I (重要業績評価指標)」であると考えられる。それならば、事業計画にも実施する事業の想定人数を示すべきであると思われるがいかがか。</p> <p>そして、その事業実施時の利用者人数を確認し、利用人数増に向けて改善策を検討していくことができるようなサイクルを作るべきではないか。</p> <p>(回答)指摘の通り、多くのこどもたちや保護者の皆様に利用してもらうことは、児童センターの使命であり、また利用者数はその成果を測るための極めて重要な指標であると考えます。今後の事業企画より、主要なイベントや講座等において、より具体的な見込み利用者数を設定していく予定です。また事業終了後には、参加人数の増減を確認するだけでなく、参加者へのヒアリングなどを実施しながら、要因分析を行いたいと考えます。その結果に基づき、魅力あるプログラムへの改善や、周知方法の工夫を行うというサイクルを構築していきます。</p> <p>[No.27]単館移動児童館、三館合同移動児童館の事業が散見されるが、児童館が偏在する現状を考えると、より増やしていくべきであると考えられるがいかがか。会場として、文化会館などの大きな施設ではなく、公民館・〇〇会館など小さな施設を狙って実施していくことで、市内全域に展開が可能であると思われる。「学童保育クラブ」「小学校の体育館」などの活用・連携により、すべての小学校への展開が可能であるはず。</p> <p>(回答)単館・3館合同移動児童館の実施回数を増やす意見について、同意するところです。ただ移動児童館の実施に伴い、旧来の児童センターを休館せざるを得ない状況もあり、業務とのバランスが必要であると考えます。会場としては、既に「三郷中央におどりプラザ」や、「三郷市立ピアラシティ交流センター」を活用している実績がありますが、指摘のあったように、今後新たな会場の開拓も検討していきたいと思えます。</p> <p>[No.28]「施設が足りない」ことを、「プログラム」で補うことができるため、特に指定管理者からすると「自館への誘引」を可能にすることとなるがいかがか。</p> <p>(回答)移動児童館などを通して、次回の利用者の誘因は効果的であると思えます。1月開催の3館合同移動児童館は、質の高いものを密度濃く実践している魅力的なプログラムです。その場で次のイベントへ案内をするなど効果的な誘導の方法を検討していきます。また移動児童館の開催についても、弊社として年度ごとに増やしていく計画です。この活動を有効的に活用していきます。以上です。</p>
<p>議長 (会長)</p>	<p>移動児童館は楽しみの一つですが、スタッフの確保など大変なこともあると思えます。協力できることがあればしていきたいと思いま</p>

委員	<p>すので、こどもたちが楽しく児童館で遊べることを願っています。委員、回答についていかがですか。</p>
議長（会長）	<p>[No.23]北児童館の回答ですが、重要業績評価指標というのは、利用者人数について気になっているので、人数を増やすための施策を考えましょうという話です。本当はそれ以外にもあるべきだろうと思っています。場所で言うならば、休館して、こどもの多い三郷中央駅地域に移動し開催するとか。議題1の説明で、北児童館は小学生を中心に報告していたので小学生に力を入れているのかな、南児童センターは親子事業に力を入れていて明日葉としてはそのようなノウハウを持っているのかなという印象を持ちました。三郷市は地域ごとに違って、なおかつ歴史をみると、児童センター・児童館ができた順番が、三郷団地にできて、戸ヶ崎にできて、早稲田にできています。団地などの人数がまとまっているところからできた歴史があり、なおかつ真ん中になくところまではよく理解できます。それらを含めて、推しの場所や推しの部門をきっちり作ってほしいというのが、この質問の趣旨でした。新たに作る必要はないので、サイクルにしてもらい、次の改善に繋がればいいなというつもりでした。例えば鎌倉や岩野木という地域にも、公民館などがあるので、それを活用した形で考えてもらえると、こどもたちが少ない地域でも事業として成立するのではないかと考えるところです。以上です。</p>
事務局	<p>他の皆様も何か意見がありましたらお願いします。今、こどもたちの遊ぶ場所が狭まり、危険なこともたくさんあるので、こういった安心して遊べる場所がたくさんできると保護者としても嬉しいなと思います。これで議題2を終了します。</p> <p>議題3、令和7年度前期モニタリング評価報告書について事務局事務局よりお願いいたします。</p> <p>令和7年度（前期）モニタリング評価について説明します。 市内に3ヶ所ある児童館・児童センターは指定管理者に委託しています。南児童センターと早稲田児童センターの運営は（株）明日葉、北児童館は、社会福祉法人三郷市社会福祉協議会がそれぞれ運営しています。このモニタリングは、指定管理者が適正に児童館を管理運営し、サービスを提供しているかどうかを現地で点検し、評価するものです。三郷市指定管理者、モニタリング要領に基づき、毎年上半期の運営についてのモニタリングを10月に、1年を通した運営についてのモニタリングを4月に実施しています。 今回は、令和7年4月から9月の6ヶ月間を通した運営についてのモニタリング結果を報告します。</p>

	<p>北児童館は希望の郷交流センター内にあり、市民活動支援課が所管する希望の郷交流センターと一括して指定管理の管理者の指定をしていることから、希望の郷交流センターと一体としてモニタリング評価を行っています。このことから南児童センターや早稲田児童センターとの評価者が異なっていることを、あらかじめご了承ください。</p> <p>※ 資料3「三郷市立児童センター令和7年度（前期）モニタリング評価報告書」について説明</p>
議長（会長）	<p>ただいまのモニタリング評価報告書に関して、委員より事前質問が提出されています。一覧表のNo. 29について事務局から回答をお願いします。</p>
事務局 議長（会長）	<p>No. 29についての回答は先ほど説明した通りです。以上です。委員、回答についていかがですか。</p>
委 員	<p>不公平感などはないですか。指定管理者によって評価者が2人や1人と異なっているのは、採点表に違いとして現れてくることはないですか。</p>
事務局	<p>本来、希望の郷交流センターでモニタリング評価をする場合は、所管課である市民活動支援課になります。委員ご指摘の不公平感をなくすために、児童館を所管していることも政策課でも北児童館についてモニタリングを行っている状況です。</p>
議長（会長）	<p>他に何か意見がありましたらお願いします。これで議題3を終了します。</p> <p>ただいま議題1から3まで終えたところですが、全体を通して委員から事前質問が提出されています。一覧表のNo. 30～No.33です。北児童館から順に回答をお願いします。</p>
指定管理者 （三郷市社会福祉協議会）	<p>[No.30]公的施設の場合、一般的に利用者人数が「K P I（重要業績評価指標）」となるが、指定管理している児童館に関しては利用者人数が「K P I」なのかどうかを検討すべき。施設によっては「幼児の事業に力を入れている」「小学生にジャカジャカきてほしい」などの「推し」の部分があるはずだし、市内全館でそれが同等に存在することもないと思われる。各館の基本方針を明示し、それを踏まえた事業を進めているのかを資料で示すべきではないか。</p> <p>(回答)人数については、希望の郷交流センターの場合は、2階で会議室の貸し出しや入浴の施設の利用において、1日当たりで120人ぐ</p>

<p>指定管理者 (株)明日葉</p>	<p>らいの高齢者が利用しており、最終的には人数で指定管理の業務報告をしています。北児童館においても、入館者の数というのは重要な指標になると考えているが、小学生に対する事業に重きを置いて行っており、その強みを活かしながら、業務の振り返りができるよう、今後明確にして報告したいと思います。</p> <p>[No.31] 公的施設の場合、一般的に利用者人数が「K P I (重要業績評価指標)」となるが、指定管理している児童館に関しては利用者人数が「K P I」なのかどうかを検討すべき。施設によっては「幼児の事業に力を入れている」「小学生にジャカジャカきてほしい」などの「推し」の部分があるはずだし、市内全館でそれが同等に存在することもないと思われる。各館の基本方針を明示し、それを踏まえた事業を進めているのかを資料で示すべきではないか。</p> <p>(回答) 児童センター事業において、利用者数は地域の子育て支援ニーズにどれだけ応えられているかを測るための重要な指標であると認識しています。公的施設である以上は、全世代に向けての事業を広く実施しています。その中でも、弊社としては、今後成長段階の長きにわたって利用の見込まれる乳幼児の事業に力を入れていきたいと考えています。来年度の事業企画にも、主事業として、乳幼児親子事業への追加の記載などを新しくしており、より地域のニーズに応じた事業を続けて展開していきたいと思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>[No.32] 全般的に「中高生の居場所づくり」に力を入れ始めているように思われるが、教育委員会青少年課の施策と被る。連携をして施策展開を協力すべきであると考えがいかがか。</p> <p>例えばボーイスカウトなど既存の青少年育成事業者との連携企画を検討することが可能なら、「窓口」を明示し、事業者にPRをする必要があると思われるがいかがか。</p> <p>(回答) 現在、青少年課では、青少年の居場所のニーズ把握として、ジュニアリーダー青少年相談員の青少年リーダーなど、対象を限定して居場所づくりを志向しています。青少年は15歳から39歳、児童館利用者18歳未満なので対象年齢は異なりますが、今後、青少年課が施策展開をしていく場合は、連携などについて調整を図っていきたいと考えています。</p> <p>[No.33] これまで、こども政策課は「こどもの居場所づくりセミナー」「プレーパーク」などの事業を行っている。これらはすべて児童館事業と共同しながら可能なはずであるが、なぜ連携した事業実施を検討しないのか。</p> <p>(回答) こども政策課としては、こどもの居場所作りセミナーやプレーパークの推進などは、官民連携での取り組みが重要と認識しています。今年1月に、UR都市機構と共催で実施したプレーパーク体験では、各児童館に周知協力をしてもらうなど、指定管理者とも連携を図ったところでした。また、令和7年度の館長会議の場において、当課か</p>

議長（会長）	<p>らプレーパークと児童館事業の関わりについて提案した経緯もありますので、引き続き調整を図るなど、連携強化に努めていきます。以上です。</p>
委員	<p>委員いかがですか。</p> <p>No.33 に関して、居場所づくりセミナーの講師をされた方と、2月11日に高州小学校の地域連携推進プロジェクトと一緒にボーイスカウトとして参加してきたのですが、どうやって事業のPRをしていいかわからないという話が出ました。例えば児童館でそれらの事業のPRができれば、広く周知できるのではないかという気がしたので、この質問でした。プレーパーク事業自体が全くPRされておらず、たまたまみさと公園で、小学校一年生10人ぐらいを連れて僕がボーイスカウトの集会として行ったとき、参加者が少なかつたため、一緒に遊んだことが何回か続きました。そのためPRができていない感覚がありました。児童館でPRするという、児童館の事業と合わせてやっていくなど、やってもらえるといいのではないかと感じています。以上です。</p>
議長（会長）	<p>他にありますか。</p> <p>一つ質問です。指定管理者の明日葉から、今後子育て支援事業に力を入れていく話があり、今三郷市でも青少年課など子育て支援事業をたくさん行っていると思うのだが、そういったところと連携する考えはありますか。私も子育て支援事業に携わっているのだが、やはり集客に関して、どういうPRをしたらよいのか悩むところがあります。また同じような内容の子育てサロンもたくさんある状態で、保護者がどこに行ってもよいのかわからなかったり、どこも楽しいという意見など様々ですが、内容が似通っているの、うちはこういう特色があるというのがあればよいと思います。その特色から連携できたら、いろいろなところでPRができるのではないかと考えます。そして、小・中・高校生の利用ですが、以前から問題になっている学区の問題があり、なかなか面白い児童館があるけれど、こどもたちだけで行けないところもあります。移動児童館や場所さえあれば、いろんな形でできるかと思えます。希望の郷交流センターでの世代交流、そして国際交流など、いろいろな形で開催できると思えます。関係機関が手を携えて、市役所の横の繋がりもできたら良いなと思えます。難しいところですがこども達を真ん中にして、ぜひこの会を通じ、皆様もいろいろなところでいろいろな形でPRをしたり、意見を出したり、参考にできたらよいなと感じました。他にありますか。</p>
副会長	<p>息子が今年中学1年生になったのですが、うちの地域の学校だけかも</p>

	<p>しれないが、小学生の遊ぶ場所だから、中学生は児童館に行ってはいけないと学校で言われたとこどもから聞きました。学年の素行が悪く止められているのかは不明ですが、私は中学生も行っていいことを知っているの、気かけながらこの数ヶ月を過ごしました。学校サイドも本当にそういう方針なのか、市として共通認識になっているのか、せつかくこのように話す場があるので、それは統一しておいてもらいたいと思いました。いろいろと企画されているし、小学生で利用が止まってしまうのは勿体なく思います。夏場は暑いから、夜の利用が可能だと伝えると、行ったら怒られるから行かないという感じだったので、よければそれぞれの方向で何か検討してもらえたらと思いました。あとは、三郷市子ども会育成連絡協議会としてジュニアリーダーがそこでうまく育ててくれたらよいなと思います。そのような職業体験を通じてこどもたちと一緒に触れ合うことが大好きなこどもたちがジュニアリーダーに移行してくれたらよいなと、今日説明を聞いていて思いましたのでぜひお願いします。</p>
事務局	<p>副会長からのご意見についてですが、大変恐縮ですが把握できていない内容となりますので、後日こども政策課から教育委員会に対し事実確認と教育委員会の方針などについて確認をさせていただければと存じます。確認内容等につきましては、改めてご連絡をさせていただきます。</p>
議長（会長）	<p>■ 副会長の意見を受けその後の確認及び対応 【別紙のとおり】</p> <p>主任児童民生委員も学校に行く機会が多いので、行った際に児童館に行ってみてくださいと声掛けができると思います。次回の会議が今月末にあるので話をしてみます。本日、校長先生の出席もされているので、児童館は小学生だけのものじゃないという話もしていただければと思います。児童館に行ってみようのチラシについても、中学生や高校生も利用できるというPR紙版があってもよいと考えるので、皆さんで声かけあって、各関係機関の皆様のご協力をよろしく願いいたします。他に、意見等ありますか。本日の議題については全て終了いたしました。進行を事務局に返します。</p>
事務局	<p>会長、進行ありがとうございました。 それでは閉会の言葉を副会長に宜しく申し上げます。</p>
副会長	<p>閉会挨拶。</p>

	<p>これにて閉会といたします。 本日はありがとうございました。</p>
--	--

5. 閉会

副会長からの意見に対するその後の対応

1 教育委員会及び中学校への確認結果

- ・6月と7月に中学生の児童館利用者におけるトラブルがあり、早稲田児童センターから中学校にその旨を連絡した
- ・学校は連絡を受け、1学年集会で「児童館の不適切な利用はしないよう」との趣旨で注意喚起を行った
- ・学校では、その後も児童館のイベントなどのポスターやチラシを掲示しており、児童館の利用の促進に協力している

2 その後対応（児童館の利用促進）

- ・こども政策課では、令和8年3月10日の三郷市立小・中学校長連絡協議会において、児童館の利用について以下3点を周知する

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">①児童館・児童センターは18歳未満が利用可能であること②令和7年度から中高生専用の時間帯を拡大していること③令和8年度から中高生を対象にしたeスポーツなどの新たな事業を実施予定であること |
|---|

- ・併せて、第2回会議で配付した児童館案内資料（児童館に行ってみよう）以下2点を追記し、学校を通じて資料を生徒児童に配付してもらい児童館の利用促進を図る

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">①中高校生も利用できる旨②中高生タイムの開催曜日及び時間 |
|---|